

ホームレスの人たちのことを理解していますか？

皆さんは、都会の地下道や駅周辺でホームレス生活を送っている人たちの様子を、マスコミを通じてある程度は知っていると思いますが、その知識は、本当に正しいものなのでしょうか。

1 ホームレスの人たちとは？

「定まった住居を持たず、都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を起居の場所として、日常生活を余儀なくされている状況にある、いわゆる野宿生活をしている人々」のことを指します。（愛媛県人権教育課ホームページより）

全国には、およそ10,000人の人たちがホームレス生活を送っており、性別は男性が95%、60歳以上が55%となっており、愛媛県内にも数十人います。

2 彼らがホームレスになった経緯は？

- ・ 刑務所を出た後、就職口がなかった
- ・ 精神疾患を発症し、アパートから追い出されて、職場からもリストラされた
- ・ 長引く不況のせいで会社が倒産し、年齢のせいで再就職できなかった
 - ・ 大病を患い、休職している間に解雇された

3 現在どのようにして暮らしているのでしょうか？

- ・ 派遣や日雇いの仕事をしている
- ・ 空き缶や古新聞などを集めて、リサイクル業者に販売している
- ・ 飲食店の残り物をもらったり、支援団体の炊き出しを食べている
- ・ 自販機や路上に落ちているお金を拾っている

4 彼らが抱えている悩みとは？

- ・ 経済的自立が困難
- ・ ジロジロ見られたり、避けられたりする
- ・ 近隣住民から、いやがらせを受ける
- ・ 差別的な言動をされる
- ・ アパートなどへの入居を拒否される
- ・ 店舗への入店や施設の利用を拒否される
- ・ 通行人から暴力をふるわれる（2014年には、松山市内で、あるホームレスの人が、10～20代の数人の若者に生玉子をぶつけられ、笑いながら「追い掛けてみる」とからかわれて恐怖を感じた、という事件が発生しています。）





5 彼らへの差別や偏見を解消し、人権を尊重するためにとられている対策は？

- ・愛媛県では生活相談や就労支援を進め、住居を紹介している
- ・民間の支援団体「オープンハンドまつやま」が、夜回りや炊き出しを行っている
- ・愛媛大学の学生が中心となって、高校への出張授業を行い、周りの人々への啓発活動を行っている

6 係りの感想

今までは、「ホームレスの人たち＝働けるのに働かない怠け者」というような偏見を抱いていたような気がします。しかし今回調べてみると、彼らがホームレスになった背景には、彼らではどうしようもなかった事情があり、むしろ、思いやりのない現代社会が生み出した被害者であり、正しく理解してあげなければならないと感じました。

今回の学習で、「正しい知識がなければ、無意識のうちに偏見や差別意識をもっ てしまい、結果的に相手を傷つけてしまうことがある」ということが、よくわかりました。

皆さんも、何が正しい情報なのかを自分自身でしっかり見極めて、行動してください。それこそが、人権問題解決のきっかけになると思います。

次回の放送は、3月14日(水)の予定です。お楽しみに..

